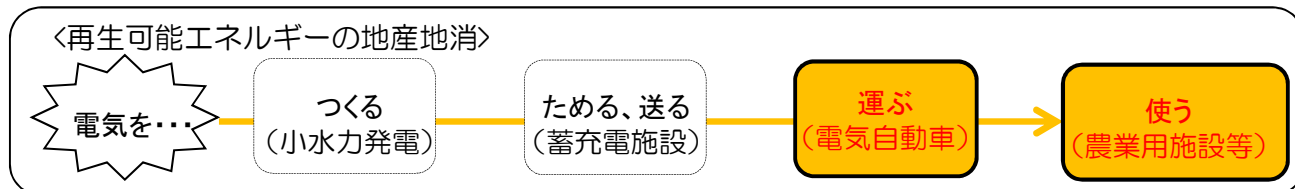


## 平成28年度のスマートビレッジモデル形成事業

農村地域における再生可能エネルギーの地産地消を目指し、県内3地区(宇都宮地区・日光地区・小山地区)で事業を実施しました。



※スマートビレッジモデル形成事業では特に電気を「運ぶ」「使う」ことを中心に、各種事業を実施しました。

## 実施した事業について(平成28年8月 第5号の続き)

### 1. 電気を「使う」…EVの電気を、田んぼ周りの草刈りに利用しています！

宇都宮地区の「飛山夢台地倶楽部」(多面的機能支払組織:以下「多面組織」と表記)に続き、小山地区では「小山市美田東部土地改良区」及び、みたとうぶ保全会(多面組織)の役員さん等、日光地区では「小林3・4区ユートピア」(多面組織)にEVから電動草刈機に充電して、除草作業を実施してもらったまる。なんと、小山地区ではテレビ取材まであったまるよ。



①小山地区での作業風景その1(テレビ取材もありました)



②小山地区での作業風景その2



③日光地区での作業風景その1



④日光地区での作業風景その2



## 2. 電気を「使う」・・・EVの電気を、非常用の電源としてハウスの天窓の開閉等を行いました！

1月25日、災害等で停電になった場合を考え、EVの電気を非常用電源として使う取組を実施したまる。  
当日は50人以上が見守る中、宇都宮市内の園芸農家でハウスの天窓の開閉等を行ったまる。



①ハウス全景(真中のEVが天窓開閉の電源車)



②多くの方が見守る中実施しました



③ハウス内部(カーテン(半透明な幕)も動かしました)



■注意■  
EVの電気を直接ハウスに接続することはできません。  
接続するには、2回変換する必要があります。  
その方法は同通信第4号を参照

④②でみなさんが見ていた設備  
(常用/非常用切替スイッチ)  
ここにEVの電気を接続します(注意)

### その他の取組



中山間地域における取組にも参加しました  
「とちぎ夢台地応援団」(ボランティア)  
場所: 那須烏山市大木須地区

視察受入 ・福島県土地改良事業団体連合会相双支部 様  
・会津中央土地改良区 様  
・神奈川県農業用水小水力等発電推進協議会 様